

令和3年度

(第11期)

事業報告書

公益財団法人北海道中小企業総合支援センター

令和3年度事業報告

I 概況

令和3年度の日本経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下にありましたが、9月末に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されて以降は、国の緊急経済対策などの効果もあり、厳しい状況は徐々に緩和され持ち直しの動きがみられました。

しかしながら、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、感染症による内外経済への影響、原材料価格の動向や供給面での制約による下振れリスクなどに十分注意する必要があります。

一方、北海道経済は、生産活動や輸出入が徐々に回復するなど緩やかな持ち直しの動きがみられましたが、感染症拡大に伴い、飲食業、観光業、旅客運輸業などが引き続き大きな影響を受けるなど、中小企業・小規模事業者の経営環境は極めて厳しい状況にありました。

こうした中、当センターにおいても、感染症拡大防止の観点から事業の執行に影響を受けましたが、オンラインによる経営相談やセミナーをはじめ、研究開発に対する助成、取引あっせんや設備貸与等を通じて、厳しい環境下にある中小企業・小規模事業者の経営の安定と持続的な発展に向けた支援に取り組みました。

主な事業としては、よろず支援拠点や金融、特許等の専門家による総合相談をはじめ、新分野・新市場を目指した製品・サービスの開発の取組を支援するとともに、地域課題の解決に資する起業化への支援、円滑な事業再生・事業承継を支援する専門家の派遣など、企業の経営課題の解決に向けた支援に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症対応資金の取扱金融機関に対し、無利子融資に伴う利子相当分を助成したほか、感染防止に向けた設備や機器整備への支援や水産加工関連事業者に対する継続的な伴走型支援を行うなど、国や道の関連施策を積極的に活用して当センターの支援機能の拡充強化を図り、道内中小企業・小規模事業者に寄り添ったきめ細やかな支援に努めました。

II 理事会・評議員会の開催状況

1 理事会

第1回 開催日 令和3年5月27日（みなし決議）

議案 第1号 令和2年度事業報告について

第2号 特定費用準備金について

第3号 令和2年度決算報告について

第4号 評議員会の開催について

報告 第1号 中期運営方針について

第2回 開催日 令和3年6月24日（みなし決議）

議案 第1号 理事長（代表理事）の選定について

第3回 開催日 令和3年7月1日（みなし決議）

議案 第1号 専務理事（代表理事）の選定について

第4回 開催日 令和3年11月29日

議案 第1号 令和3年度事業計画及び収支予算の変更について

報告 第1号 令和3年度事業実施状況について

第5回 開催日 令和4年3月9日（みなし決議）

議案 第1号 令和3年度事業計画及び収支予算の変更について

第2号 令和4年度事業計画（案）について

第3号 令和4年度収支予算（案）について

第4号 令和4年度借入金最高限度額について

第5号 令和4年度会計監査人の報酬について

第6号 評議員会の開催について

2 評議員会

第1回 開催日 令和3年5月10日（みなし決議）

（臨時）議案 第1号 評議員の辞任に伴う選任について

第2回 開催日 令和3年6月24日（みなし決議）

議案 第1号 令和2年度事業報告について

第2号 特定費用準備金について

第3号 令和2年度決算報告について

第4号 理事の選任について

第5号 評議員の選任について

報告 第1号 中期運営方針について

第3回 開催日 令和4年3月28日

（臨時）議案 第1号 令和3年度事業計画及び収支予算の変更について

第2号 令和4年度事業計画について

第3号 令和4年度収支予算について

第4号 理事の報酬等の額について

第5号 評議員の選任について

報告 第1号 令和4年度借入金最高限度額について

Ⅲ 事業の概要

1 経営強化の取組

(1) 総合相談窓口

経営相談及び特許、金融等の専門分野に対応する総合相談に対応したほか、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている事業者からの相談に幅広く対応するため、5月～6月に休日相談窓口を開設するなど、中小企業・小規模事業者から延べ1万7,461件の相談に応じた。

(2) よろず支援拠点事業（中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業）

本部・支部に27名のコーディネーターを配置し、重点分野（生産性向上、新型コロナウイルス関連）等に対応したほか、オンライン相談の活用や出前相談会、休日相談窓口の開設等により1万1,444件の相談対応を行った。

また、オンラインセミナーや地域支援機関連携フォーラムを開催し、支援機関や金融機関等との連携に努めた。

(3) 下請かけこみ寺事業

下請相談員1名が常駐する相談窓口を開設し、取引上の悩みやトラブルなど、135件の相談に対応した。

(4) 専門家派遣事業（中小企業経営資源強化対策事業）

販路拡大や新商品開発を目指す意欲ある中小企業・小規模事業者3社を選定し、専門家による指導を延べ12回実施した。

(5) 地域伴走型支援事業（がんばる中小企業応援事業）

経営改善計画策定や新商品の開発、改良、販路開拓等に取り組む中小企業者14社に対し、地域の支援機関や専門家等の協力を得ながら経営アドバイスをを行ったほか、過年度支援先10社にフォローアップを実施した。

(6) 小規模企業者等設備貸与事業

小規模企業者等の創業及び経営革新に必要な設備導入の促進を図るため、機械設備の割賦販売38件、5億8,523万1千円、リース2件、1,266万1千円を決定した。

(7) 中小企業競争力強化促進事業

(再掲 4 - (1) - ②コンサルタント等招へい支援事業、③産業人材育成・確保支援事業)

(8) 中小企業等外国出願支援事業

道内中小企業・小規模企業者等の外国への特許・商標等の出願を支援するため、出願に係る計画を募集し、応募のあった11件のうち、9件(特許3件、商標6件)607万4千円の補助金を交付した。

(9) 設備導入等促進診断事業(高度化事業診断)

北海道の中小企業高度化資金貸付制度に係る条件変更先5件の運営診断を行ったほか、2件の予実管理に係る事後助言を行った。

(10) 水産加工関連事業者生産性向上緊急対策事業

水産加工関連事業者117社から経営診断問診票の提出を受け、新型コロナウイルスの影響先を含め各課題に応じて延べ991回の相談対応を行った。

そのうち、生産現場改善やHACCP対応など専門家の指導を必要とする51社に専門家を376回派遣した。

(11) 新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業

中小企業者の事業の振興及び経営の安定化を図るため、新型コロナウイルス感染症対応資金の取扱金融機関に対し、無利子融資に伴う利子相当部分119億9,293万8,906円を助成した。

2 創業促進・事業承継円滑化の取組

(1) 北海道中小企業新応援ファンド事業

※再掲 4 - (2) (①創業促進支援事業)

(2) 北海道大学連携型起業家育成施設入居企業支援事業

「北大ビジネス・スプリング」に職員1名を派遣し、入居者に対する経営等の助言指導のほか、施策情報の提供などを行った。

(3) 事業再生・承継支援対策事業

本部・支部に8名のコーディネーターを配置し、市町村や商工団体、金融機関、支援機関等と連携し、延べ830件の個別相談に対応したほか、事業再生に係る専門家派遣を26回、事業承継に係る専門家派遣を52回行った。

また、道内6圏域に構築した事業承継サポートネットワークの合同会議をオンラインを含め5回開催した。

(4) 北のふるさと事業承継支援ファンド事業

小規模企業者の親族外事業承継を促進するため、事業承継支援ファンドによる投資実行1件、1,515万6千円、投資先の選定(次年度の実行)1件、282万2千円を行った。

また、既存投資先に対する定期的な経営モニタリングを実施した。

(5) 地域課題解決型起業支援事業

地域課題の解決に資するために道内で新たに起業する者を募集し、応募のあった57件のうち、29件(3,064万1千円)の補助金を交付するとともに、事業の立ち上げ・継続を支援するため定期的に経営相談対応等を行った。

3 販路開拓・取引拡大の取組

(1) 受発注情報収集提供事業

専門調査員を札幌及び関東圏にそれぞれ2名配置し、職員を含め道内外の発注企業・受注企業を延べ630件訪問し、受発注情報の収集提供を行った。

(2) 商談会等開催事業

札幌市内において発注企業18社、受注企業47社が一堂に会する受発注拡大商談会を開催し、143件の商談機会を提供した。

東京都内において開催を計画した北東北3県との合同商談会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、書面マッチング方式へ変更し、商談機会を提供した。(道内企業の商談件数85件)

(3) ビジネスマッチング支援事業

道内の創業間もない事業者3社によるビジネスプラン発表会を札幌市で開催するとともに、地域の金融機関との共催により、食品バイヤーが助言指導を行う食のビジネスマッチングを道内10地域（オンライン開催1地域を含む）で開催した。

(4) 展示会等出展支援事業（がんばる中小企業応援事業）

道内外で開催される4展示会等（東京インターナショナルギフトショー、北海道技術・ビジネス交流会、食品開発展、機械要素技術展）に展示ブースを確保し、選定した出展企業13社のPRの支援を行った。

(5) 中小企業競争力強化促進事業

※再掲 4-(1) (①マーケティング支援事業)

(6) 地域資源活用等応援事業

地域の金融機関と連携し食品バイヤーによる助言指導を行う食のビジネスマッチングの開催に向けた準備を行った。

4 新事業創出の取組

(1) 中小企業競争力強化促進事業

道内中小企業・小規模事業者等の新分野・新市場への進出等を目指す製品・サービスの開発や市場開拓等の取組を支援するため、事業計画を募集し、応募のあった25件のうち、19件（1,833万8千円）の補助金を交付した。

①マーケティング支援事業

②コンサルタント等招へい支援事業

③産業人材育成・確保支援事業

④市場対応型製品開発支援事業

(2) 北海道中小企業新応援ファンド事業

創業や道内中小企業・小規模事業者等が地域資源を活用した新事業展開、ものづくり分野での製品開発チャレンジ等の新たな産業の創出や事業化の取組を支援するため、事業計画を募集し、応募のあった43件のうち、40件(2,650万5千円)の助成金交付を決定した。

①創業促進支援事業

②地域資源活用型事業化実現事業

③製品開発チャレンジ支援事業

(3) 北海道中小企業新応援ファンド(2号ファンド)事業

地域資源を活用した新事業展開の取組を支援するため、1件、150万円の助成金交付を決定した。

(4) 北洋6次産業化応援ファンド事業

農林漁業者等による農林水産物の加工・販売等を促進するため、北洋銀行及び農林漁業成長産業化支援機構と連携して投資組合を運営するとともに、既存投資先に対する定期的な経営モニタリングを実施した。

5 その他の取組

(1) 飲食事業者等感染防止対策支援事業

道内中小企業者のうち、飲食店等の対面サービスを提供する事業者が業種別ガイドラインを踏まえた上で行う、新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けた取組を支援するため、5,961件(3億5,195万6千円)の補助金を交付した。

(2) その他事業

①支援情報提供事業

中小企業・小規模事業者の経営等に必要な情報を提供するため、総合支援辞典や支援制度ガイドブックを発行するとともに、メールマガジンの配信、ホームページでの制度紹介をはじめ、関係機関の施策情報等をトピックスとして掲載するなどして、中小企業支援施策の情報提供に努めた。

②会員へのサービス提供

事業PR冊子の郵送などによる制度紹介及び、メールマガジンによるタイムリーな施策情報の提供に努めた。

IV 支援事業の内容

事業項目	計画	実績	比較増減	摘要
1 経営力強化の取組				
(1) 総合相談窓口 相談件数	6,000 件	6,017 件	17 件	札幌本部、6支部 〔道南・十勝・道北・釧根・ 日胆・オホーツク〕
(2) よろず支援拠点事業 相談件数	9,000 件	11,444 件	2,444 件	札幌本部、6支部 〔道南・十勝・道北・釧根・ 日胆・オホーツク〕
出前相談会	70 回	78 回	8 回	
ミニ講習会・セミナー	15 回	23 回	8 回	
(3) 下請けかけこみ寺事業 相談件数	100 件	135 件	35 件	下請けかけこみ寺相談員1名体制
(4) 専門家派遣事業 (中小企業経営資源強化対策事業) 派遣回数	3 社 9 回	3 社 12 回	- 社 3 回	
(5) 地域伴走型支援事業 (がんばる中小企業応援事業) 支援先	14 件	14 件	- 件	
(6) 小規模企業者等設備貸与事業 割賦契約	540,000 千円	585,231 千円	45,231 千円	
リース契約	60,000 千円 50 件	12,661 千円 40 件	△47,339 千円 △10 件	
※ (8) 中小企業等外国出願支援事業	6,579 千円 21 件	6,074 千円 9 件	△505 千円 △12 件	
※ (9) 設備導入等促進診断事業 (高度化事業診断)	7 件	7 件	- 件	
※ (10) 水産加工関連事業者生産性向上 緊急対策事業 支援回数	900 回	991 回	91 回	
うちコロナ影響先	135 回	890 回	755 回	
(11) 新型コロナウイルス感染症対応 資金利子補給事業 無利子融資支援金	9,494,600 千円	11,992,939 千円	2,498,339 千円	
2 創業促進・事業承継円滑化の取組				
※ (2) 北海道大学連携型起業家育成 施設入居企業支援事業 派遣日数	180 日	180 日	- 日	インキュベーションマネージャーを配置
(3) 事業再生・承継支援対策事業 事業承継診断	150 件	237 件	87 件	
相談対応	700 件	830 件	130 件	
専門家派遣	70 回	78 回	8 回	
後継者・事業者向けセミナー	1 回	1 回	- 回	
事業承継サポートネットワーク会議	6 回	5 回	△1 回	

※番号は「Ⅲ事業の概要」とおり。

事業項目	計画	実績	比較増減	摘要
※(4) 北のふるさと事業承継支援ファンド事業				ファンド総額:5億円
組成額	42,000 千円	15,156 千円	△26,844 千円	存続期間:16年間(令和14年度末)
投資実行件数	3 件	1 件	△2 件	投資先の選定:1件、2,822千円
経営モニタリング件数	7 件	5 件	△2 件	
※(5) 地域課題解決型起業支援事業				
補助金交付	48,000 千円	30,641 千円	△17,359 千円	
事業承継計画策定	30 件	29 件	△1 件	
3 販路開拓・取引拡大の取組				
(1) 受発注情報収集提供事業				
企業訪問	800 件	630 件	△170 件	
発注案件開拓	60 件	142 件	82 件	
取引成約	50 件	21 件	△29 件	
(2) 商談会等開催事業				
道内商談会	2 回	1 回	△1 回	
道外商談会	1 回	0 回	△1 回	書面マッチング方式での開催
(3) ビジネスマッチング支援事業				
プレゼン会	1 回	1 回	- 回	
ビジネスマッチング	5 回	10 回	5 回	道内信用金庫との共催 (うちオンライン開催1回)
(4) 展示会等出展支援事業 (がんばる中小企業応援事業)	20 社	13 社	△7 社	
(5) 地域資源活用等応援事業				
ファンド補填	3,000 千円	0 千円	△3,000 千円	
ビジネスマッチング機会	6 回	0 回	△6 回	
4 新事業創出の取組				
(1) 中小企業競争力強化促進事業				
①マーケティング支援事業	10,000 千円	6,306 千円	△3,694 千円	
	8 件	9 件	1 件	
②コンサルタント等招へい支援事業	2,000 千円	1,817 千円	△183 千円	
	2 件	3 件	1 件	
③産業人材育成・確保支援事業	1,000 千円	264 千円	△736 千円	
	2 件	2 件	- 件	
④市場対応型製品開発支援事業	16,000 千円	9,951 千円	△6,049 千円	
	4 件	5 件	1 件	
(2) 北海道中小企業新応援 ファンド事業				
①創業促進支援事業	19,000 千円	16,255 千円	△2,745 千円	
	19 件	29 件	10 件	
②地域資源活用型事業化実現事業	19,500 千円	9,477 千円	△10,023 千円	
	13 件	9 件	△4 件	
③製品開発チャレンジ支援事業	4,500 千円	773 千円	△3,727 千円	
	9 件	2 件	△7 件	
(3) 北海道中小企業新応援 ファンド(2号ファンド)事業	4,500 千円	1,500 千円	△3,000 千円	
	3 件	1 件	△2 件	

※番号は「Ⅲ事業の概要」のとおり。

事業項目	計画	実績	比較増減	摘要
(4) 北洋6次産業化応援ファンド事業 経営モニタリング	3 件	3 件	- 件	ファンド総額:30億円 存続期間:15年間(令和10年3月末)
5 その他の取組				
(1) 飲食事業者等感染防止対策 支援事業				
感染防止対策補助金	400,934 千円 9,000 件	351,956 千円 5,961 件	△48,978 千円 △3,039 件	
(2) 支援情報提供事業				
メールマガジン配信	36 件	15 件	△21 件	
トピックス掲載	150 件	125 件	△25 件	

※番号は「Ⅲ事業の概要」のとおり。